

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	マーケティング戦略	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	谷口 幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界でのサービスマーケティング・インターナルマーケティング		

講義概要
昨年度学んだ「マーケティング」をふまえ、企業が目的を実現するための指針「経営戦略」のうち「マーケティング戦略」を学ぶ。ビジネスパーソンとして、経営者による経営戦略から「どのような指針・土台をもとにマーケティングを展開していくか？」をビジネスフレームワークを用いて理解していく。
達成目標
(1) 用語や定義：経営・マーケティング戦略の用語や定義に慣れる。(2) フレームワーク：ビジネスフレームワークの「使いどころ」を把握し、実践に使えるよう理解を進める。
学修成果
マーケティング領域という「部分」から、「全体」＝経営視点からのマーケティングの立ち位置や役割を知り、フレームワーク活用の利点を学ぶ。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	興味関心ある企業調査
	授業計画	ガイダンスおよび「マーケティング戦略の定義」		授業計画	「ビジネスモデルキャンパス」の作成演習と発表①
	事後学習	環境の変化と生活の変化		事後学習	ビジネスモデルキャンパスの再編成
2	事前学習	ビジネス	10	事前学習	企業調査
	授業計画	「環境の変化」と「マーケティング戦略の必要性」		授業計画	「ビジネスモデルキャンパス」の作成演習と発表②
	事後学習	商品サービスが売れない理由		事後学習	ビジネスモデルキャンパスの再編成
3	事前学習	消費行動の変化	11	事前学習	競合他社調査
	授業計画	環境変化による「生活・消費活動の変化」の関係性		授業計画	「ビジネスモデルキャンパス」で競合他社比較
	事後学習	消費活動の繋がりや派生		事後学習	ビジネスモデルキャンパスの再編成
4	事前学習	消費活動の繋がりや派生	12	事前学習	企業研究・分析
	授業計画	「変化の指標」とマーケティングによる「意味と価値」づくり		授業計画	①マーケティング視点の企業研究②組織体制とマーケティング機能
	事後学習	商品サービスの意味と価値を探る		事後学習	特定企業の研究・分析
5	事前学習	商品サービスの意味と価値を探る	13	事前学習	業界研究・分析
	授業計画	演習：環境と商品サービスの意味と価値の変化①		授業計画	マーケティング視点での業界研究・分析と求人選び
	事後学習	商品購入までの流れと繋がり		事後学習	特定業界の研究・分析
6	事前学習	価値	14	事前学習	前回までの講義の復習
	授業計画	演習：環境と商品サービスの意味と価値の変化②		授業計画	第1回～第13回講義の振り返りと要点の確認
	事後学習	価値のある・なし		事後学習	配布資料の見直し
7	事前学習	ビジネスモデル	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	フレームワークとビジネスモデル・ビジネスモデルキャンパス (BMC)		授業計画	定期試験
	事後学習	ビジネスモデルキャンパス		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	顧客満足		事前学習	
	授業計画	「ビジネスモデルキャンパス作成事例」と演習		授業計画	
	事後学習	各要素の繋がりや派生		事後学習	

評価方法	出席状況：30% 定期試験：70%
教科書	著者名 オリヴァー・ガスマンほか タイトル ビジネスモデルナビゲーター 出版社 翔泳社
参考書	著者名 近藤哲朗 タイトル ビジネスモデル 2.0 図鑑 出版社 株式会社 KADOKAWA

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	経営戦略	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	谷口 幸広		
実務経験 教員紹介	娯楽業界でのサービスマーケティング・インターナルマーケティング		

講義概要
「利益を出せる企業には共通点（ビジネスモデル）がある」という視点から、「ビジネスモデル」にはどのようなものがあるのか？を「ビジネスモデルナビゲーター・55パターンカード」を用いて理解する。ビジネスモデルを知り、就職活動での企業選択や志望動機作成にも役立つ。
達成目標
55パターンあるビジネスモデルから身近なモデルを選出。そのビジネスモデルの「仕組み」や「特長」について理解し、他の学生・学年にプレゼンテーションを実施。
学修成果
限られた時間のなかで多様なビジネスを理解するためには、ビジネスモデルのパターンを知り、現実の企業と擦り合わせる事が重要であることを修める。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	フランチャイズ
	授業計画	ビジネスモデルの定義と必要性について共有し、55パターンカード説明		授業計画	ビジネスモデル「フランチャイズ」の説明と演習
	事後学習	興味を持てたビジネスモデルを調査		事後学習	直販との違い
2	事前学習	フレームのメリットデメリット	10	事前学習	Amazon 社のビジネス
	授業計画	ビジネスモデル「クロスセル」の説明と演習		授業計画	ビジネスモデル「ロングテール」の説明と演習
	事後学習	アップセル		事後学習	楽天と Amazon の比較
3	事前学習	定額制サービス	11	事前学習	興味ある企業のビジネスモデル
	授業計画	ビジネスモデル「サブスクリプション」の説明と演習		授業計画	興味ある企業のビジネスモデルを作成、55パターンカードも引用
	事後学習	課金システム		事後学習	経営資源の流れとステークホルダー
4	事前学習	無料で貰える・使える商品サービス	12	事前学習	興味ある企業の競合他社調査
	授業計画	ビジネスモデル「フリーミアム」の説明と演習		授業計画	興味ある企業と競合他社のビジネスモデルと比較と図解化
	事後学習	シェアリングとは		事後学習	ビジネスモデルの相違点抽出
5	事前学習	ミニマリスト	13	事前学習	プレゼン準備
	授業計画	ビジネスモデル「シェアリングエコノミーサービス」の説明と演習		授業計画	興味ある企業のビジネスモデル図解のプレゼンテーションと評価
	事後学習	レンタルとシェアの違い		事後学習	フィードバックを受けて再構築
6	事前学習	消費者の「モノを持たない価値」	14	事前学習	後期テキストの振り返り
	授業計画	習ったビジネスモデルを活用して「新しいビジネス」を作る		授業計画	第1回目～第13回目講義の振り返りと質疑応答
	事後学習	経営資源の流れを図解		事後学習	前期テキストの振り返り
7	事前学習	新しいビジネスの価値提案	15	事前学習	前期・後期テキスト内容確認
	授業計画	新しいビジネスの図解化とプレゼンテーション準備		授業計画	定期試験
	事後学習	プレゼンのタイムマネジメント		事後学習	テキスト見直し
8	事前学習	プレゼン準備			
	授業計画	「新しいビジネス」のプレゼンテーション実施と評価			
	事後学習	評価を踏まえて再構築			

評価方法	出席状況：30% 定期試験：70%
教科書	著者名 オリヴァー・ガスマンほか タイトル ビジネスモデルナビゲーター 出版社 翔泳社
参考書	著者名 近藤哲朗 タイトル ビジネスモデル 2.0 図鑑 出版社 株式会社 KADOKAWA

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナーⅢ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	井上 由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 38 年 イメージコンサルタント歴 16 年 話し方指導 17 年 ビジネスマナー講師 歴 11 年		

講義概要
1 年次に学んだビジネスマナーの理解をさらに深め、社会人として必要な知識を積み上げる。ビジネスメールのやり取り、携帯電話のマナーと対応、名刺の取り扱い等を学習する。企業訪問の際の振る舞いや受付方法を学ぶ。社会人の常識として知っておきたい基礎用語を理解する。
達成目標
メールを使って企業の人事担当とやり取り出来る。ビジネス文書送付時の添え状を作成出来る。郵便物の宛名を正しく書ける。報告書やレポートの書き方、社会人常識基礎用語がわかる。
学修成果
堂々と自信を持って企業人とやり取り出来るようになる。各自進路に向けて、自己理解を深め、積極的に行動出来るようになる。初対面の相手との会話力が身につく。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	会社訪問体験を書き出す
	授業計画	1 年次の成長を振り返り 2 年次の学習目標を設定する		授業計画	会社訪問の準備 受付での振る舞い ロールプレイング
	事後学習	1 年次の復習ポイントを洗いだす		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
2	事前学習	3 か月後の在りたい姿を言語化する	10	事前学習	名刺デザインを考える
	授業計画	自己分析 自分のことを言語化して整理する		授業計画	名刺交換 紹介の仕方 5 つのケースの ロールプレイング
	事後学習	ワークシートを仕上げる		事後学習	名刺を 5 枚作成する
3	事前学習	1 年次の学びを 1 分で説明する準備	11	事前学習	日本企業の役職名を復習する
	授業計画	自己のキャッチコピー作成 話の聴き方トレーニング		授業計画	様々な場面の席次 応接室・会議室・エレベーター・車など
	事後学習	自己 PR を準備する		事後学習	フォームを使って小テスト
4	事前学習	身近なビジネス文書を集める	12	事前学習	雑談の話題を探す
	授業計画	ビジネス文書の基本形 履歴書送付状(下書き)作成 封筒宛名書き実習		授業計画	心の壁を取り除く雑談力の伸ばし方 ショートスピーチ
	事後学習	PC で送付状を作成する		事後学習	フォームを使って授業内容を報告
5	事前学習	メールの利用体験を書き出す	13	事前学習	6 W4H について予習しておく
	授業計画	ビジネスメールのマナー 面接のお礼メール下書き		授業計画	日報・報告書の役割と書き方 守秘義務と情報の取り扱い
	事後学習	お礼メール下書きを PC 入力する		事後学習	授業内容を報告書形式でまとめる
6	事前学習	1 年次の電話対応を復習する	14	事前学習	配布資料を読んでおく
	授業計画	携帯電話のマナーと活用 挨拶・基本動作実習		授業計画	各種資料の引用・要約する際のルール 著作権
	事後学習	電話対応定型句集を作成する		事後学習	引用を使ってレポートを作成する
7	事前学習	頭語・結語について調べる	15	事前学習	定期試験の準備
	授業計画	ビジネスコミュニケーションツールの使い分け		授業計画	定期試験
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告		事後学習	定期試験の振り返り
8	事前学習	具体的な訪問先を Web 検索で選ぶ			
	授業計画	訪問アポイントメントの取り方 メールの場合・電話の場合の実習			
	事後学習	フォームを使って授業内容を報告			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (課題と小テスト) >：20%

教科書 著者名
タイトル 教科書は指定せず、毎回プリント等を配布
出版社
参考書 著者名
タイトル 複数の参考書や Web サイトより適宜引用
出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	ビジネスマナーⅣ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	井上 由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 38 年 イメージコンサルタント歴 16 年 話し方指導 17 年 ビジネスマナー講師歴 11 年		

講義概要
2 年間の総仕上げとして、大人のマナーについて学習する。ビジネスマナーは勿論のこと、冠婚葬祭の基礎知識、食事のマナー、ビジネスチャンスに繋がる季節の行事や日本のしきたりなど、人として高評価を得られるような知識に触れ、日本社会への理解を深めるとともに人間力を磨く。
達成目標
冠婚葬祭の目的や意義を理解し、対応出来るようになる。会食の席での食事マナーを学び、品格ある行動が出来るようになる。社会人常識マナー検定 2 級レベルの知識を身につける。
学修成果
社会人として、大人として、知っていれば失敗を防ぐことが出来るマナーや常識の知識が身につく。日本の行事やしきたりをビジネスに繋がるヒントと考えられるようになる。

授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	社会常識 コミュニケーション問題
	授業計画	ビジネスマナーⅠ・Ⅱ・Ⅲの振り返りと今後の課題を確認		授業計画	和食のマナー 日本料理の基礎知識 箸使いの作法
	事後学習	ビジネスマナーⅣの目標を設定する		事後学習	箸使いの練習をする
2	事前学習	社会常識 ことわざ・慣用句①	10	事前学習	社会常識 ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭の目的と意義 冠婚葬祭とビジネスの関係		授業計画	西洋料理のマナー 食事の仕方とカトラリーの使い方
	事後学習	自国の通過儀礼について調べる		事後学習	ナイフ・フォークで食事をする
3	事前学習	社会常識 ことわざ・慣用句②	11	事前学習	社会常識 ビジネスマナー問題
	授業計画	冠婚葬祭 日本の主な通過儀礼「冠」のしきたり		授業計画	中華料理のマナー 中華料理の基礎知識と回転卓の作法
	事後学習	自国の結婚について調べる		事後学習	食事のマナーについてレポート作成
4	事前学習	社会常識 欧文略語	12	事前学習	社会常識 総合問題①
	授業計画	冠婚葬祭 「婚」のしきたり 招待客としてのマナー		授業計画	縦書きのビジネス文書 案内状・招待状・お礼状
	事後学習	自国の葬儀について調べる		事後学習	お礼状を出す相手を決める
5	事前学習	社会常識 主要国名と首都名	13	事前学習	社会常識 総合問題②
	授業計画	冠婚葬祭 「葬」のしきたり ビジネスにおける訃報対応		授業計画	縦書き手書きのお礼状 下書き文章を作成する
	事後学習	自国の季節行事について調べる		事後学習	筆ペンを準備する
6	事前学習	税金や社会保障制度に関する用語	14	事前学習	社会常識 総合問題③
	授業計画	冠婚葬祭 「祭」のしきたり① 季節の行事		授業計画	筆ペンの使い方実習 お礼状を清書し仕上げる
	事後学習	自国と日本の行事を比較する		事後学習	フォームを使って授業内容報告
7	事前学習	社会常識 時事問題	15	事前学習	定期試験準備
	授業計画	冠婚葬祭 「祭」のしきたり② 暦と二十四節気		授業計画	定期試験
	事後学習	冠婚葬祭の学習レポートを作成する		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	社会常識 コミュニケーション問題		事前学習	
	授業計画	食事のマナー 食文化と歴史 食事とビジネスの関係		授業計画	
	事後学習	フォームを使って授業内容報告		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (課題・小テスト) >：20%

教科書 著者名
タイトル 教科書は指定せず、毎回プリント等を配布
出版社

参考書 著者名
タイトル 令和3年度版社会人常識マナー検定試験 最新過去問題集 2 級
出版社 公益社団法人 全国経理教育協会

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーションⅢ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においては2つの目的を持って取り組む。1つは就職活動場面における適切な表現方法の習得。もう1つはプレゼンテーションにおいて1年次はグループ発表がメインだったが、個人でのスライド作成、構成作成、表現ができることを目標に個人での発表を行う。
達成目標
就職活動において企業側の意図を想定した応答ができ、効果的に自分自身をPRできる。プレゼンテーションにおいて、効果的なパワーポイントの資料作成、及び論理的表現ができる。
学修成果
就職活動での必要表現が身につく。パワーポイントを利用した資料作成ができる。論理的なコミュニケーションが取れる。それを活用した個人発表ができる。

授業計画

1	事前学習	現在の就職活動の整理	9	事前学習	スティーブジョブスの情報収集
	授業計画	就職活動表現①自己PR:場面に応じた自己紹介及び就活での効果的PR		授業計画	プレゼンテーション④表現2:孫正義動画から表現法理解、実践
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	志望理由作成	10	事前学習	TED 動画視聴
	授業計画	就職活動表現②志望理由:様々な業種に応じた理由の違い及び実践練習		授業計画	プレゼンテーション⑤表現3:TED 動画から表現法理解、実践
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	就活質問解答準備	11	事前学習	過去自身の作成スライドを確認
	授業計画	就職活動表現③その他質問:企業心理の分析及びそれに応じた解答作成		授業計画	プレゼンテーション⑥スライド作成:5秒でわかるスライド作成法
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	就活態度の確認	12	事前学習	ジェスチャーの意義を確認
	授業計画	就職活動表現④態度・言葉遣い:面接や電話応答での動作理解及び実践		授業計画	プレゼンテーション⑦表現動作:人を惹きつけるジェスチャー講義
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	面接想定練習	13	事前学習	発表テーマ選定
	授業計画	就職活動表現⑤模擬面接会(面接、評価、FB)		授業計画	プレゼンテーション⑧発表準備(構成・セリフ作成、スライド準備)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	前回プレゼン講義内容整理	14	事前学習	発表準備
	授業計画	プレゼンテーション①決意表明:1年の決意表明を構成、表現を動画撮影		授業計画	プレゼンテーション⑨個人発表(発表、評価、FB)
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表振り返り
7	事前学習	プレゼンテーション専門用語確認	15	事前学習	試験範囲復習
	授業計画	プレゼンテーション②プレゼンテーションのアウトライン確認		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	チームワーク考察		事前学習	
	授業計画	プレゼンテーション③表現1:ジョブス動画から表現法理解、実践		授業計画	
	事後学習	講義内容復習		事後学習	

評価方法 出席状況:20% 定期試験:50% <(発表)>:30%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 カーマイン・ガロ
タイトル スティーブジョブス驚異のプレゼン
出版社 日経BP社

年度	2022年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーションⅣ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
今講義においてはプレゼンテーションを軸とした様々な表現方法を学習する。プレゼンテーションの他にも企画書やCM動画作成などを通して場面に応じた柔軟な表現力獲得を目指す。またその過程でのグループ作業を通してチームビルディングに必要な知識を学習する。
達成目標
実際のビジネスの場面の多くでプレゼンテーション学習を活用することを目標とする、具体的にはインタビューやチームでの共同作業、企画提案、スピーチ等である。
学修成果
受容、共感を用いて相手の気持ちを重視した傾聴ができる。チームの役割を把握したグループ作業ができる。CM、企画書、スピーチ、ビジネスプレゼン等場面での表現ができる。

授業計画

1	事前学習	前回スピーチ講義内容確認	9	事前学習	自身作成のCM内容理解
	授業計画	スピーチ①表現法：呼吸法、発声法及び表現方法の理解、実践		授業計画	チームビルディング④：CM講評会（視聴、発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
2	事前学習	スピーチ発表準備	10	事前学習	前回ビジネスプレゼン内容確認
	授業計画	スピーチ②スピーチコンテスト（発表、評価、FB）		授業計画	ビジネスプレゼン①言葉遣い・動作：ビジネス場面における作法の理解
	事後学習	自身発表振り返り		事後学習	講義内容復習
3	事前学習	ビジネス文書予習	11	事前学習	構成についてポイント確認
	授業計画	ビジネス文書①ビジネス文書作成ルール		授業計画	ビジネスプレゼン②社外プレゼン（社内プレゼンとの違い）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
4	事前学習	企画書案予習	12	事前学習	スライド作成法振り返り
	授業計画	ビジネス文書②企画書作成（目的と作成方法）		授業計画	ビジネスプレゼン③社外プレゼンスライド作成
	事後学習	講義内容復習		事後学習	講義内容復習
5	事前学習	企画書発表準備	13	事前学習	テーマ選定
	授業計画	ビジネス文書③企画発表（企画書⇒スライド作成）		授業計画	ビジネスプレゼン④社外プレゼン発表準備（発表、評価、FB）
	事後学習	自身発表振り返り		事後学習	講義内容復習
6	事前学習	チームワークのポイント確認	14	事前学習	発表準備
	授業計画	チームビルディング①基礎概論：グループとチームの違い		授業計画	ビジネスプレゼン⑤発表会（発表、評価、FB）
	事後学習	講義内容復習		事後学習	自己発表内容振り返り
7	事前学習	チームワークのポイント確認	15	事前学習	期末試験範囲の復習
	授業計画	チームビルディング②実践：企業研修での複数タスクの実践練習		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	有名CM視聴及び感想作成		事前学習	
	授業計画	チームビルディング③CM作成：役割分担、メッセージ確認し動画撮影		授業計画	
	事後学習	講義内容復習		事後学習	

評価方法 出席状況：20% 定期試験：50% <（発表）>：30%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 前田鎌利
タイトル 社外プレゼンの資料作成術
出版社 ダイヤモンド社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	外国語Ⅲ (T2)	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
The course is designed to teach learners how to use English effectively, developing them into successful global citizens.
達成目標
Learners gain competence in English as a means of international communication in a globalized world.
学修成果
Students can learn the basic vocabulary and grammar through the tasks in the book.

授業計画

1	事前学習	Check syllabus	9	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Introduction		授業計画	Describing places around the world - superlatives 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preview textbook	10	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Talking about favorites 1		授業計画	Making comparisons 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preview textbook	11	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Talking about favorites 2		授業計画	Making comparisons 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preview textbook	12	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Asking about and describing physical appearance 1		授業計画	Asking for and expressing opinions 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preview textbook	13	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Asking about and describing physical appearance 2		授業計画	Asking for and expressing opinions 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preview textbook	14	事前学習	Review
	授業計画	Talking about shopping and time expressions 1		授業計画	Review for exam
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preview textbook	15	事前学習	Review
	授業計画	Talking about shopping and time expressions 2		授業計画	Final exam
	事後学習	Review		事後学習	Review of exam
8	事前学習	Preview textbook			
	授業計画	Describing places around the world - superlatives 1			
	事後学習	Review			

評価方法 出席状況 : 40% 定期試験 : 60%

教科書 著者名 Carmella Lieske, Andrew Boon
 タイトル Timezones 2
 出版社 Cengage Learning

参考書 著者名
 タイトル
 出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	外国語Ⅲ (P1)	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	Everett Ofari		
実務経験 教員紹介	I have over 20 years of experience as a tutor/instructor at the college level.		

講義概要
The course encourages learners to develop an open mind, a critical eye, and a clear voice in English, using real-world stories and TED Talks.
達成目標
Learners will develop the critical thinking skills and be able to express their ideas confidently.
学修成果
Students can learn the intermediate-level vocabulary and grammar through the tasks in the book.

授業計画

1	事前学習	Check syllabus	9	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Introduction		授業計画	Making comparisons
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preview textbook	10	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Talking about likes and dislikes		授業計画	TED Don't eat the marshmallow! - Joachim de Posada
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preview textbook	11	事前学習	Preview textbook
	授業計画	TED Half a million secrets - Frank Warren		授業計画	Talking about availability
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preview textbook	12	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Giving reasons		授業計画	Accepting and denying an invitation
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preview textbook	13	事前学習	Preview textbook
	授業計画	TED Magical houses, made of bamboo - Elora Hardy		授業計画	TED Why we laugh - Sophie Scott
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preview textbook	14	事前学習	Review
	授業計画	Agreeing and disagreeing		授業計画	Review for exam
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preview textbook	15	事前学習	Review
	授業計画	TED The amazing story of the man who gave us modern pain relief - Latif Nasser		授業計画	Final exam
	事後学習	Review		事後学習	Review of exam
8	事前学習	Preview textbook			
	授業計画	Asking about opinions			
	事後学習	Review			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：60%

教科書 著者名 Nancy Douglas, James R. Morgan
タイトル Perspectives 1
出版社 Cengage Learning

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	外国語Ⅲ (P2)	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	Everett Ofari		
実務経験 教員紹介	I have over 20 years of experience as a tutor/instructor at the college level.		

講義概要
The course encourages learners to develop an open mind, a critical eye, and a clear voice in English, using real-world stories and TED Talks.
達成目標
Learners will develop the critical thinking skills and be able to express their ideas confidently.
学修成果
Students can learn the intermediate-level vocabulary and grammar through the tasks in the book.

授業計画

1	事前学習	Check syllabus	9	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Introduction		授業計画	TED Why I'm a weekday vegetarian
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preview textbook	10	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Asking follow-up questions		授業計画	Job interviews
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preview textbook	11	事前学習	Preview textbook
	授業計画	TED This app knows how you feel		授業計画	TED Not perfect resume
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preview textbook	12	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Asking for and giving directions		授業計画	Review: Unit1- unit2
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preview textbook	13	事前学習	Preview textbook
	授業計画	TED Happy maps		授業計画	Review: Unit3- unit4
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preview textbook	14	事前学習	Review
	授業計画	Agreeing and disagreeing		授業計画	Review: Unit5
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preview textbook	15	事前学習	Review
	授業計画	TED How I swam the North Pole		授業計画	Final exam
	事後学習	Review		事後学習	Review of exam
8	事前学習	Preview textbook			
	授業計画	Talking about hopes and goals			
	事後学習	Review			

評価方法 出席状況 : 40% 定期試験 : 60%

教科書 著者名 Daniel Barber, Lewis Lansford, Amanda Jeffries

タイトル Perspectives 2

出版社 Cengage Learning

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	外国語Ⅳ(T2)	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	Samin Parwani		
実務経験 教員紹介	英会話学校教師		

講義概要
The course is designed to teach learners how to use English effectively, developing them into successful global citizens.
達成目標
Learners gain competence in English as a means of international communication in a globalized world.
学修成果
Students can learn the basic vocabulary and grammar through the tasks in the book.

授業計画

1	事前学習	Preview textbook	9	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Expressing quantity - quantifiers 1		授業計画	Describing past experiences 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preview textbook	10	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Expressing quantity - quantifiers 2		授業計画	Talking about future plans 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preview textbook	11	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Asking for and giving advice 1		授業計画	Talking about future plans 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preview textbook	12	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Talking about daily routines and activities 1		授業計画	Talking about volunteering and charity events 1
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preview textbook	13	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Talking about daily routines and activities 2		授業計画	Talking about volunteering and charity events 2
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preview textbook	14	事前学習	Review
	授業計画	Asking for and giving directions 1		授業計画	Review for exam
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preview textbook	15	事前学習	Review
	授業計画	Asking for and giving directions 2		授業計画	Final exam
	事後学習	Review		事後学習	Review of exam
8	事前学習	Preview textbook			
	授業計画	Describing past experiences 1			
	事後学習	Review			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：60%
 教科書 著者名 Carmella Lieske, Andrew Boon
 タイトル Timezones 2
 出版社 Cengage Learning
 参考書 著者名
 タイトル
 出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	外国語Ⅳ (P1)	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	Everett Ofari		
実務経験 教員紹介	I have over 20 years of experience as a tutor/instructor at the college level.		

講義概要	The course encourages learners to develop an open mind, a critical eye, and a clear voice in English, using real-world stories and TED Talks.
達成目標	Learners will develop the critical thinking skills and be able to express their ideas confidently.
学修成果	Students can learn the intermediate-level vocabulary and grammar through the tasks in the book.

授業計画

1	事前学習	Preview textbook	9	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Giving advice 1		授業計画	TED The Wijsens - Our campaign to ban plastic bags in Vali
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preview textbook	10	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Giving advice 2		授業計画	Talking about careers
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preview textbook	11	事前学習	Preview textbook
	授業計画	TED Reshma Saujani - Teach girls bravery, not perfection		授業計画	TED Ellen Macarthur - The surprising thing I learned sailing solo around the world
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preview textbook	12	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Making suggestions		授業計画	Talking about pros and cons
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preview textbook	13	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Making decisions		授業計画	TED Greg Gage - How to control someone else's arm with your brain
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preview textbook	14	事前学習	Review
	授業計画	TED Tristram Stuart - The global food-waste scandal		授業計画	Review for exam
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preview textbook	15	事前学習	Review
	授業計画	How to persuade		授業計画	Final exam
	事後学習	Review		事後学習	Review of exam
8	事前学習	Preview textbook			
	授業計画	Persuasive speech			
	事後学習	Review			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：60%

教科書 著者名 Nancy Douglas, James R. Morgan
 タイトル Perspectives 1
 出版社 Cengage Learning

参考書 著者名
 タイトル
 出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	外国語Ⅳ (P2)	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	Everett Ofari		
実務経験 教員紹介	I have over 20 years of experience as a tutor/instructor at the college level.		

講義概要
The course encourages learners to develop an open mind, a critical eye, and a clear voice in English, using real-world stories and TED Talks.
達成目標
Learners will develop the critical thinking skills and be able to express their ideas confidently.
学修成果
Students can learn the intermediate-level vocabulary and grammar through the tasks in the book.

授業計画

1	事前学習	Check syllabus	9	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Introduction		授業計画	TED The world's most boring tv
	事後学習	Review		事後学習	Review
2	事前学習	Preview textbook	10	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Describing photos		授業計画	Explaining causes and reasons
	事後学習	Review		事後学習	Review
3	事前学習	Preview textbook	11	事前学習	Preview textbook
	授業計画	TED Deep sea diving		授業計画	TED Inside the mind
	事後学習	Review		事後学習	Review
4	事前学習	Preview textbook	12	事前学習	Preview textbook
	授業計画	Shopping for clothes		授業計画	Review: Unit6- unit7
	事後学習	Review		事後学習	Review
5	事前学習	Preview textbook	13	事前学習	Preview textbook
	授業計画	TED Grow your own clothes		授業計画	Review: Unit8- unit9
	事後学習	Review		事後学習	Review
6	事前学習	Preview textbook	14	事前学習	Review
	授業計画	Responding sympathetically		授業計画	Review: Unit10
	事後学習	Review		事後学習	Review
7	事前学習	Preview textbook	15	事前学習	Review
	授業計画	TED Have a better conversation		授業計画	Final exam
	事後学習	Review		事後学習	Review of exam
8	事前学習	Preview textbook			
	授業計画	Asking and making recommendations			
	事後学習	Review			

評価方法 出席状況 : 40% 定期試験 : 60%

教科書 著者名 Daniel Barber, Lewis Lansford, Amanda Jeffries

タイトル Perspectives 2

出版社 Cengage Learning

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	外国語演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	山北 麻美		
実務経験 教員紹介	語学・留学カウンセリング(企業・学生) 児童英語テキスト・指導法作成 異文化理解及び英会話研修(企業)		

講義概要
本講義では、外国語とその文化に触れ理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感し英会話の基礎を養う。基本的な文法や単語を確認した上で、実際に使う場面を想定したスキットを通して英語を話す・使う練習をする。
達成目標
<ul style="list-style-type: none"> ・英語を使って挨拶や受け答えができるようになる。 ・英語圏の文化や行事を知り興味を持つようになる。 ・怖がらずに進んで英語で話したり反応できるようになる。
学修成果
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文法を理解し、文法を使って英文を作成することができる。 ・英語を使おうとする姿勢と意欲が見られる。 ・英語で話しかけられた時に英語で答えられる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	復習
	授業計画	オリエンテーション		授業計画	疑問詞のついた疑問文の Q&A②
	事後学習	自己紹介の準備		事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	自己紹介の準備	10	事前学習	復習
	授業計画	自己紹介・基本的なあいさつ		授業計画	疑問詞のついた疑問文の Q&A③
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習	11	事前学習	グループ発表の準備
	授業計画	personality/人物紹介 家族や自分のことを英語で表現する		授業計画	グループ発表準備
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	グループ発表の準備
4	事前学習	復習	12	事前学習	グループ発表の準備
	授業計画	一般動詞 自分の好きなことを英語で伝える		授業計画	グループ発表
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
5	事前学習	復習	13	事前学習	復習
	授業計画	過去形 週末や過去の事を表現する		授業計画	動画を使ってリスニング 海外の日常動画から文化と表現を学ぶ
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	未来形 予定や希望を英語で表現する		授業計画	前期のまとめ
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	復習	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	現在進行形		授業計画	期末試験
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	復習		事前学習	復習
	授業計画	疑問詞のついた疑問文の Q&A①		授業計画	前期のまとめ
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	期末試験の準備

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (授業態度・発表) >：20%

教科書	著者名	井口紀子
	タイトル	1 から出直し書き込み式英語 book
	出版社	成美堂出版
参考書	著者名	Jack C. Richards / David Bohlke
	タイトル	Speak NOW1
	出版社	OXFORD

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	山北 麻美		
実務経験 教員紹介	語学・留学カウンセリング(企業・学生) 児童英語テキスト・指導法作成 異文化理解及び英会話研修(企業)		

講義概要
本講義では、外国語とその文化に触れ理解を促進し、語学を使ってコミュニケーションをとる楽しさを体感し英会話の基礎を養う。基本的な文法や単語を確認した上で、実際に使う場面を想定したスキットを通して英語を話す・使う練習をする。
達成目標
・英語を使って挨拶や受け答えができるようになる。 ・実際の場면을想像しながら英語で話す。 ・怖がらずに進んで英語で話したり反応できるようになる。
学修成果
・基本的な文法を理解し、文法を使って英文を作成することができる。 ・英語を使おうとする姿勢と意欲が見られる。 ・学習してきた英語を使ってコミュニケーションがとれる。

授業計画

1	事前学習	前期授業内容の見直し	9	事前学習	復習
	授業計画	cooking 料理や味の表現・日本食を紹介する		授業計画	トラブル① 困ったとき・謝る時の表現
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
2	事前学習	復習	10	事前学習	復習
	授業計画	海外での英語① レストランで使う 表現・海外でのマナー		授業計画	トラブル② 災害・忘れ物などトラブルの時の表現
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
3	事前学習	復習	11	事前学習	復習
	授業計画	海外での英語② レストランで使う表 現・海外でのマナー		授業計画	自己表現 発表やプレゼンテーショ ンの時に使う英語
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
4	事前学習	復習	12	事前学習	復習
	授業計画	海外での英語③ レストランで使う 表現・海外でのマナー		授業計画	発表の準備 presentation の内容を考え英文にする
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	presentation の準備
5	事前学習	復習	13	事前学習	presentation の準備
	授業計画	海外での英語④ 買い物をする時の英語		授業計画	発表 (presentation) 持ち時間を使って英語で発表する
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	ポイントの見直し
6	事前学習	復習	14	事前学習	復習
	授業計画	海外での英語⑤ 買い物をする時の英語		授業計画	後期の総復習(文法・単語・表現を使っ て会話練習)
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	復習	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	病気・体調不良① 病名や body parts など基本的な単語		授業計画	期末試験
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	期末試験の振り返り
8	事前学習	復習		事前学習	復習
	授業計画	病気・体調不良②持病や体調不良の時 に説明できるような基本表現		授業計画	期末試験
	事後学習	ポイントの見直し		事後学習	期末試験の振り返り

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (授業態度・発表) >：20%

教科書	著者名 井口紀子 タイトル 1 から出直し書き込み式英語 book 出版社 成美堂出版
参考書	著者名 Jack C. Richards / David Bohlke タイトル Speak NOW1 出版社 OXFORD

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	卒業演習 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験(相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援)		

講義概要
今講義では卒業論文作成に向け、研究テーマ選定のためのアプローチ方法や論文執筆にあたっての基本ルールについて説明し、実際の文章作成を通し書き方の基本を身につける。講義の中ではこちらより選定したテーマに沿って論文作成の基本に則り文章を作成し、書き方の型を身につける。
達成目標
卒業論文作成のためのテーマの選定方法や文献等の探し方、引用文献や参考資料等を扱う際の著作権等のルール、文章構成の順番など論文作成の基礎を理解し自身の研究テーマを決める。
学修成果
作文とは異なる研究論文の意味と目的を理解し、事実に基づいた信頼性のある情報を収集、精査し、論拠に基づく文章構成ができるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究とは何か テーマの探し方、 情報収集の仕方と実践練習		授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース2」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
2	事前学習	学習内容の予習	10	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究の基本事項① 引用文の扱い方、文体、内容		授業計画	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「ニュース3」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
3	事前学習	学習内容の予習	11	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究課題設定の基本事項② 研究背景、目的、文章構成の方法		授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「講義内容1」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
4	事前学習	学習内容の予習	12	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	卒業研究課題設定の基本事項③ 研究の進め方、展開方法		授業計画	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「講義内容2」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
5	事前学習	学習内容の予習	13	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テ ーマ設定「好きなこと1」		授業計画	前回学習内容の復習 題材別テーマ設定「講義内容3」
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
6	事前学習	学習内容の予習	14	事前学習	学習内容の予習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テ ーマ設定「好きなこと2」		授業計画	卒業研究課題作成の基本事項確認 テーマの決定
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出
7	事前学習	学習内容の予習	15	事前学習	前期学習内容の復習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テ ーマ設定「好きなこと3」		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	学習内容の予習		事前学習	学習内容の予習
	授業計画	前回学習内容の復習 題材別研究テーマ設定「ニュース1」		授業計画	卒業研究課題作成の基本事項確認 テーマの決定
	事後学習	学習内容の復習、課題の提出		事後学習	学習内容の復習、課題の提出

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% < (課題) >：30%

教科書 著者名 講師配布資料

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では個人が決めた卒業研究のテーマに基づき、必要な情報を収集し、卒業論文を執筆する。講義の中では、テーマ研究に必要な情報収集の方法や、読む人を納得させるために必要な論拠に基づく論理展開の方法や必要なアプローチについて学習し、論文作成に活かす。
達成目標
卒業論文を仕上げ、提出する。自らが積極的に追求したくなるテーマについて、問題意識を持ち仮説を立てて、それを検証する形で論理を展開し、結論まで導き出す。
学修成果
自らが決めた一つのテーマについて集中して研究することにより、集中力、継続力、忍耐力を身につけ、卒業論文の完成をもって達成感を味わい自信につなげる。

授業計画

1	事前学習	卒業論文作成のための事前準備	9	事前学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
	授業計画	卒業研究テーマの確認と諸注意 スケジュールの確認と卒業論文作成		授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成⑧
	事後学習	資料収集、卒業論文作成		事後学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
2	事前学習	資料収集、卒業論文作成	10	事前学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
	授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成①		授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成⑨ 初稿提出期限 1
	事後学習	資料収集、卒業論文作成		事後学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
3	事前学習	資料収集、卒業論文作成	11	事前学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
	授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成②		授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成⑩ 初稿提出期限 2
	事後学習	資料収集、卒業論文作成		事後学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
4	事前学習	資料収集、卒業論文作成	12	事前学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
	授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成③		授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成⑪ 初稿校正 1
	事後学習	資料収集、卒業論文作成		事後学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
5	事前学習	資料収集、卒業論文作成	13	事前学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
	授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成④		授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成⑫ 初稿校正 2
	事後学習	資料収集、卒業論文作成		事後学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
6	事前学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成	14	事前学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
	授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成⑤		授業計画	卒業論文作成及び校正⑬ 卒業論文最終稿提出
	事後学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成		事後学習	卒業論文内容確認
7	事前学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成	15	事前学習	講義内容の事前学習
	授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成⑥		授業計画	定期試験
	事後学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成		事前学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成
	授業計画	卒業論文作成のための情報収集と論文作成⑦		授業計画	
	事後学習	資料収集、資料研究、卒業論文作成		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：30% <（課題）>：40%

教科書 著者名 講師配布資料

参考書
タイトル
出版社
著者名
タイトル
出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	卒業演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験（相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援）		

講義概要
今講義では作成した卒業研究論文を基に、卒業研究発表のためのスライドの作成及びプレゼンテーション準備を行う。この2年間での学びを活かし、より人の心に伝わる、人の心を動かす発表を目指し、スライドの機能およびプレゼンテーションの流れについて改めて振り返りながら専門学校の学びの集大成として一つの形にまとめる。
達成目標
卒業研究課題の引き続きの追求と卒業研究論文を基に、スライドを用いた卒業研究発表の作成準備と発表の実行。専門学校2年間の学びの集大成の成果として発表を行うことで、自身の学びを将来に繋げる。
学修成果
一つのことに集中して研究することを通して、社会人として必要な集中力、継続力、忍耐力、課題解決力を身につけ、卒業論文発表会での発表にて達成感を味わい自信につなげる。

授業計画

1	事前学習	卒業論文内容確認	9	事前学習	卒業論文発表のための事前準備
	授業計画	オリエンテーション 卒業論文発表会概要説明		授業計画	卒業論文発表のための個別作業⑧ 発表準備②
	事後学習	卒業論文発表スライドの準備		事後学習	卒業論文発表スライドの準備
2	事前学習	卒業論文発表のための事前準備	10	事前学習	卒業論文発表のための事前準備
	授業計画	卒業論文発表のための個別作業① スライド作成上の注意①		授業計画	卒業論文発表スライド完成 卒業論文発表スライド初稿提出
	事後学習	卒業論文発表スライドの準備		事後学習	卒業論文発表スライドの準備
3	事前学習	卒業論文発表のための事前準備	11	事前学習	卒業論文発表のための事前準備
	授業計画	卒業論文発表のための個別作業② スライド作成上の注意②		授業計画	卒業論文発表会予行演習① 卒業論文 発表スライドの内容見直しと校正
	事後学習	卒業論文発表スライドの準備		事後学習	卒業論文発表スライドの準備
4	事前学習	卒業論文発表のための事前準備	12	事前学習	卒業論文発表のための事前準備
	授業計画	卒業論文発表のための個別作業③ 中間状況確認		授業計画	卒業論文発表スライド作成 卒業論文発表スライドの最終校正
	事後学習	卒業論文発表スライドの準備		事後学習	卒業論文発表スライドの準備
5	事前学習	卒業論文発表のための事前準備	13	事前学習	卒業論文発表のための事前準備
	授業計画	卒業論文発表のための個別作業④ 発表スライド構成概要の提出		授業計画	卒業論文発表会予行演習② 卒業論文発表スライド完成版提出
	事後学習	卒業論文発表スライドの準備		事後学習	卒業論文発表スライドの準備
6	事前学習	卒業論文発表のための事前準備	14	事前学習	卒業論文発表のための事前準備
	授業計画	卒業論文発表のための個別作業⑤ 発表スライド構成概要の見直し		授業計画	卒業論文発表会 卒業論文発表の評価とフィードバック
	事後学習	卒業論文発表スライドの準備		事後学習	卒業論文発表内容振り返り
7	事前学習	卒業論文発表のための事前準備	15	事前学習	後期講義内容の見直し
	授業計画	卒業論文発表のための個別作業⑥ 発表スライド構成概要最終提出		授業計画	定期試験
	事後学習	卒業論文発表スライドの準備		事後学習	定期試験見直し
8	事前学習	卒業論文発表のための事前準備		事前学習	
	授業計画	卒業論文発表のための個別作業⑦ 発表準備①		授業計画	
	事後学習	卒業論文発表スライドの準備		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：30% <（課題）>：40%

教科書 著者名 講師配布資料

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティ経営論 I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的は2つある。まず、ビジネス学習として企業におけるブランドの定義や成り立ち及びブランディング活動の理解をすること。その理解を通じて、自信をブランドに置き換え自己分析をし、パーソナルブランドを確立することの2つを目的とする。
達成目標
企業の行っているブランディング活動を理解することができ、それを自身に置き換えブランドと定義づけをし、自己理解を深め、今後の自己成長につなげる。
学修成果
企業活動としてのブランディングを理解することができる。自身をブランドに置き換え価値あるものとして自己肯定感を高められる。自身の今後の活動に活かすことができる。

授業計画

1	事前学習	前回講義振り返り	9	事前学習	前回講義振り返り
	授業計画	ブランドとは①: ブランド概念の導入と定義づけ		授業計画	ブランディング⑤: ブランド作成(ロゴとタグライン設定)
	事後学習	パーソナルブランドシート作成		事後学習	パーソナルブランドシート作成
2	事前学習	前回講義振り返り	10	事前学習	前回講義振り返り
	授業計画	ブランドとは②: ブランド10のメリットについて		授業計画	ブランディング⑥: ブランド作成(ネーミングとプライシング)
	事後学習	パーソナルブランドシート作成		事後学習	パーソナルブランドシート作成
3	事前学習	前回講義振り返り	11	事前学習	前回講義振り返り
	授業計画	発表課題①: 第一次パーソナルブランド宣言		授業計画	自分らしさ発見活動②: パーソナルカラー検査体験
	事後学習	パーソナルブランドシート作成		事後学習	パーソナルブランドシート作成
4	事前学習	前回講義振り返り	12	事前学習	前回講義振り返り
	授業計画	ブランディング①: 3C分析(自社分析とジョハリの窓)		授業計画	ブランディング⑦: ブランド管理(インターブランディング)
	事後学習	パーソナルブランドシート作成		事後学習	パーソナルブランドシート作成
5	事前学習	前回講義振り返り	13	事前学習	前回講義振り返り
	授業計画	ブランディング②: 3C分析(顧客分析とターゲティング)		授業計画	ブランディング⑧: ブランド管理(ブランドメンテナンス)
	事後学習	パーソナルブランドシート作成		事後学習	パーソナルブランドシート作成
6	事前学習	前回講義振り返り	14	事前学習	前回講義振り返り
	授業計画	ブランディング③: 3C分析(他社分析とポジショニング)		授業計画	発表課題②: 今後へのパーソナルブランド宣言
	事後学習	パーソナルブランドシート作成		事後学習	試験復習
7	事前学習	前回講義振り返り	15	事前学習	試験復習
	授業計画	自分らしさ発見活動①: オリジナルパフューム作り体験		授業計画	定期試験
	事後学習	パーソナルブランドシート作成		事後学習	試験振り返り
8	事前学習	前回講義振り返り			
	授業計画	ブランディング④: ブランドアイデンティティの設定			
	事後学習	パーソナルブランドシート作成			

評価方法 出席状況: 20% 定期試験: 50% <(課題)>: 30%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 乙幡満男
タイトル ブランディングが9割
出版社 青春出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	情報処理Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
この講義では、WORD の操作をビジネスレベルで使えるようになることを目的とする。そのため、場面に応じたルールや使用する言葉を理解し、ビジネスメールが作成できること、CS 検定 WORD 2 級取得ができる PC スキルが身につけられる内容となっている。
達成目標
ブラインドタッチで平均以上での文字入力ができる。ビジネス場面における適切なメールを作成することができる。CS 検定 2 級レベルの WORD での操作ができるようになる。
学修成果
ブラインドタッチでの文書入力ができる。WORD の機能を効果的に利用して文書作成ができる。ビジネスルールを理解して、ビジネス場面での活用ができる。

授業計画

1	事前学習	PC 起動確認	9	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネス用語①（敬語、尊敬語、謙譲語の活用）		授業計画	CS 検定課題 1 文字入力①、Word 振り返り③（ワードアート、画像）
	事後学習	タイピングソフトでの入力練習		事後学習	講義学習内容を操作確認
2	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	10	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	ビジネス用語②（ビジネスメール専門用語、構成）		授業計画	CS 検定課題 1 文字入力②、Word 振り返り④表作成（設定等）
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義学習内容を操作確認
3	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	11	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習①、ビジネスメール①（就活場面メール）		授業計画	CS 検定 2 級各課題内容確認 & 過去問題実践
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
4	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	12	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習②、ビジネスメール②（同僚や社内メール）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word 2 級過去問題①実践 & 解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
5	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	13	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力練習③、ビジネスメール③（取引先やお客様等社外メール）		授業計画	文書課題作成、CS 検定 Word 2 級過去問題②実践 & 解答
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時過去問題確認
6	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	14	事前学習	タイピングソフトでの入力練習
	授業計画	文書入力タイピング速度コンテスト、ビジネスメール振り返り		授業計画	文書課題作成、期末試験前 Word 操作振り返り
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	講義時学習内容確認
7	事前学習	タイピングソフトでの入力練習	15	事前学習	定期試験範囲復習
	授業計画	文書入力練習④、Word 振り返り①文書作成、表作成		授業計画	定期試験
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	なし
8	事前学習	タイピングソフトでの入力練習		事前学習	
	授業計画	文書入力練習⑤、Word 振り返り②文書編集（書式設定、段組み設定）		授業計画	
	事後学習	講義学習内容を操作確認		事後学習	

評価方法 出席状況：20% 定期試験：50% <（課題）>：30%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 富士通エフ・オー・エム株式会社
タイトル Microsoft Office Specialist WORD 2016 対策テキスト & 問題集
出版社 FOM 出版

年度	2022年度	学期	後期
科目名	消費者行動論	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
人間の心理面に焦点をあて、市場で製品が売れる課程を理解していく。特に、その課程において企業や店舗がどのように関わっているのか、人が選択する際の「くせ」（不合理）を伝統経済学やマーケティング、行動経済学等幅広い視点から理解できる内容とする。
達成目標
人間心理に基づいた購買行動を理解することで、今後の仕事における顧客心理に基づいた対応や企画、普段の買い物や自身の学習計画の履行等で広く活用していくことを目標とする。
学修成果
1年次に学習したマーケティングや経済学、ホスピタリティを活用することで獲得した知識を再学習することで実践に活かすイメージを定着させる。

授業計画

1	事前学習	マーケティング用語を調べる	9	事前学習	男女の違い調査
	授業計画	マーケティング基礎講義：1.0-4.0マーケティング比較		授業計画	消費者行動③男女別マーケティングと事例紹介
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
2	事前学習	ホスピタリティ用語を調べる	10	事前学習	認知学用語を調べる
	授業計画	ホスピタリティ基礎講義：顧客満足（インサイトを知る）		授業計画	消費者行動④ニューロンマーケティングと事例紹介
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
3	事前学習	経済学用語を調べる	11	事前学習	EC用語を調べる
	授業計画	経済学基礎講義：機会費用、希少性、代替財等法則		授業計画	最新消費者行動①AIDMAとAISASの購買行動
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
4	事前学習	経済学用語を調べる2	12	事前学習	EC用語を調べる2
	授業計画	行動経済学講義①：伝統経済学の限界と違い		授業計画	最新消費者行動②ECマーケティングとショールーミング
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
5	事前学習	行動経済学用語調べる1	13	事前学習	2025年調査
	授業計画	行動経済学講義②：ヒューリスティックとシステムティック		授業計画	最新消費者行動③2025年における消費者行動
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
6	事前学習	行動経済学用語を調べる2	14	事前学習	流行用語を調べる
	授業計画	行動経済学講義③：プロスペクト理論とナッジ理論		授業計画	イノベーションと流行の関係、流行を作ろう
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	学習内容復習課題
7	事前学習	購入パターン調査	15	事前学習	これまでのテスト範囲の復習
	授業計画	消費者行動①購買意思決定プロセスと事例紹介		授業計画	定期試験
	事後学習	学習内容復習課題		事後学習	試験振り返り
8	事前学習	カラー用語を調べる			
	授業計画	消費者行動②カラーマーケティングと事例紹介			
	事後学習	学習内容復習課題			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：50% <（課題）>：30%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 田中洋
タイトル 消費者行動論
出版社 中央経済社

年度	2022年度	学期	前期
科目名	冠婚葬祭概論Ⅰ	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験(相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援)		

講義概要
本講義では、学生が社会人として身につけておくべき冠婚葬祭における知識及びスキルの習得、日本文化の理解を目的とする。講義を通じて、日本の文化やしきたり、習慣の由来や意味について理解した上で実際の場面で行動する際に学習した内容を活かせるようにする。
達成目標
冠婚葬祭に参加する際にマナーに沿った行動ができる。冠婚葬祭の専門知識の習得とそれに関わる職業の理解。冠婚葬祭の背景にある日本文化を理解し、他者に伝えられるようになる。
学修成果
冠婚葬祭に参加の際にマナーを守り行動できる。冠婚葬祭に関わる仕事の知識を得て、将来の進路の選択肢の幅を広げる。日本の文化や伝統行事の意味について、他国の人に説明できる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回講義内容の確認
	授業計画	冠婚葬祭とは 成り立ちや歴史、文化的背景の理解		授業計画	冠婚葬祭に関わる仕事② 結婚に関わる仕事
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
2	事前学習	前回講義内容の確認	10	事前学習	前回講義内容の確認
	授業計画	冠婚葬祭の「祭」 日本のお祭りについて調べよう		授業計画	冠婚葬祭に関わる仕事③ 課外活動：式場体験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
3	事前学習	前回講義内容の確認	11	事前学習	前回講義内容の確認
	授業計画	冠婚葬祭の「祭」 日本のお祭り発表 準備(グループワーク)		授業計画	冠婚葬祭に関わる仕事③ ウェディングプランを立ててみよう
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	前回講義内容の確認	12	事前学習	前回講義内容の確認
	授業計画	冠婚葬祭の「祭」 日本のお祭り発表 (プレゼンテーション)		授業計画	冠婚葬祭に関わる仕事④ ウェディングプランの発表
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
5	事前学習	前回講義内容の確認	13	事前学習	前回講義内容の確認
	授業計画	冠婚葬祭に関わるマナー① 御見舞・贈り物のマナー		授業計画	世界の冠婚葬祭について調べよう① 地域別冠婚葬祭文化の比較
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	前回講義内容の確認	14	事前学習	前回講義内容の確認
	授業計画	冠婚葬祭に関わるマナー② 弔事の際のマナー		授業計画	世界の冠婚葬祭について調べよう② 比較プレゼン発表
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	前回講義内容の確認	15	事前学習	前期講義内容復習
	授業計画	冠婚葬祭に関わる仕事① 葬儀に関わる仕事		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験解答確認
8	事前学習	前回講義内容の確認		事前学習	
	授業計画	冠婚葬祭に関わるマナー③ 結婚式の際のマナー		授業計画	
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <(課題)>：30%

教科書 著者名 講師配布プリント

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

岩下宣子監修

きちんと知っておきたい大人の冠婚葬祭マナー新事典

朝日新聞出版

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	時事研究Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的はSDGsに焦点を当てて、17の目標に基づき、日本の抱える諸問題についての理解を深め、視野を広げた上で日本の将来を具体的に予測し解決策を模索、住みやすい日本にするためにどう行動すべきかの準備をする講義である。
達成目標
現在のSDGs 17の目標に基づく日本の諸問題に対して深く理解をし、住みやすい日本にするためにどう行動すべきかを考えることを目標とする。
学修成果
日本のSDGs 17の目標に基づく諸問題を理解し、その知識をインターネット等メディアを利用し情報収集できる。それを就職活動や社会で活かすことができる。

授業計画

1	事前学習	最新時事情報収集	9	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題①SDGs 17の目標について考える		授業計画	日本における諸問題⑨SDGs サステナブル商品事例
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題
2	事前学習	最新時事情報収集	10	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題②SDGs とMDGs の違い		授業計画	日本における諸問題⑩SDGs 政府の取り組むアクションプラン
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題
3	事前学習	最新時事情報収集	11	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題③SDGs ナマケモノでもできるアクションガイド		授業計画	日本における諸問題⑪SDGs 個人のできるアクションプラン
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題
4	事前学習	最新時事情報収集	12	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題④持続可能なエネルギーについて		授業計画	日本における諸問題⑫SDGs 企業のできるアクションプラン
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題
5	事前学習	最新時事情報収集	13	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題⑤SDGs に関する政府取組みについて		授業計画	日米比較ハイオンライン講義：SDGs への取り組み
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題
6	事前学習	最新時事情報収集	14	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題⑥SDGs 17の目標より（環境）		授業計画	今後への提言：私のSDGs アクションプラン発表
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	定期試験準備
7	事前学習	最新時事情報収集	15	事前学習	試験準備
	授業計画	日本における諸問題⑦SDGs 17の目標より（教育）		授業計画	定期試験
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	試験振り返り
8	事前学習	最新時事情報収集		事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	日本における諸問題⑧SDGs 17の目標より（健康と福祉）		授業計画	
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	

評価方法 出席状況：20% 定期試験：50% <（課題）>：30%

教科書

著者名
タイトル
出版社

参考書

著者名 日本時事能力検定協会監修
タイトル 2021 年度版ニュース検定公式テキスト&問題集「時事力」入門編
出版社 毎日新聞出版

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	時事研究Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義の目的はデータに基づき論理的判断のできる思考を学び、複雑で予想の難しい最新時事に焦点を当てて、現実在即した理解をしていく。その上でどうすべきかの解決策を模索、将来の自身がどう行動していくべきかの準備をする講義である。
達成目標
データに基づく論理的判断のできる思考を学ぶ。それに付随して情報収集能力を高め、対象を深く理解し、具体的かつ正確な予測のできることを目標とする。
学修成果
データに基づく論理的判断ができる。その知識をインターネット等メディアを利用し適確な情報収集できる。それを就職活動や社会で活かすことができる。

授業計画

1	事前学習	最新時事情報収集	9	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	論理的思考の習得①分断本能とネガティブ本能		授業計画	最新時事とその考察③地政学と世界の国家間問題後半
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題
2	事前学習	最新時事情報収集	10	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	論理的思考の習得と実践②直線本能と恐怖本能		授業計画	最新時事とその考察④G A F A を中心とした仕事の未来前半
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題
3	事前学習	最新時事情報収集	11	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	論理的思考の習得と実践③過大視本能とパターン化本能		授業計画	最新時事とその考察④G A F A を中心とした仕事の未来後半
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題
4	事前学習	最新時事情報収集	12	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	論理的思考の習得と実践④宿命本能と単純化本能		授業計画	最新時事とその考察⑤100 年ライフと多様なロールモデル前半
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題
5	事前学習	最新時事情報収集	13	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	論理的思考の習得と実践⑤犯人探し本能と焦り本能		授業計画	最新時事とその考察⑤100 年ライフと多様なロールモデル後半
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題
6	事前学習	最新時事情報収集	14	事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	最新時事とその考察①A I がもたらす利益と弊害		授業計画	今後への提言：私の 100 年ライフプラン発表
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	定期試験準備
7	事前学習	最新時事情報収集	15	事前学習	試験準備
	授業計画	最新時事とその考察②スマートフォン利用の怖い現実		授業計画	定期試験
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	試験振り返り
8	事前学習	最新時事情報収集		事前学習	最新時事情報収集
	授業計画	最新時事とその考察③地政学と世界の国家間問題前半		授業計画	
	事後学習	ニュース検定 2 級程度問題課題		事後学習	

評価方法 出席状況：20% 定期試験：30% < (課題) >：50%

教科書 著者名
タイトル

出版社
著者名
タイトル
出版社

ハンス・ロスリング
FACTFULNESS10 の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣
日経 B P

年度	2022年度	学期	前期
科目名	接遇外国語 I	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任・東日本エリアリーダー主任		

講義概要
この授業では、自己紹介や、学校での活動について、また家族についてや、自身の習慣など、日常的に話すであろう簡易なトピックについて英語で話せるよう講義を行う。講義内容については全て英語で行うと共に、欧米交流を目的としているため、海外提携先大学とのオンライン交流授業も実施する。
達成目標
英語を話したいが苦手である、また基礎的な語彙力や文法知識に乏しく、英語で話す事に自信が無いと言う学生も、失敗を恐れずに発話する事を目標とする。
学修成果
日常的な会話に必要な語彙や、Wh 疑問文や基本時制と言われる、現在形、過去形、未来形について基本的な型を理解し、自分自身の言葉として発話出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	講義ガイダンス Classroom English について紹介		授業計画	①Unit9 What does she look like?
	事後学習	上記内容について復習		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
2	事前学習	クラス英語復習	10	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	①Unit6 How often do you run?		授業計画	②Unit9 What does she look like?
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
3	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	11	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	②Unit6 How often do you run?		授業計画	③Unit9 What does she look like?
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
4	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	12	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	③Unit6 How often do you run?		授業計画	④Unit9 What does she look like?
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
5	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	13	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	④Unit6 How often do you run?		授業計画	⑤Unit9 What does she look like?
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
6	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	14	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	⑤Unit6 How often do you run?		授業計画	⑥Unit9 What does she look like?
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	テストの準備
7	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	15	事前学習	テストの準備
	授業計画	⑥Unit6 How often do you run?		授業計画	テスト
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	テストの振り返り
8	事前学習	文法事項復習及び会話文音読			
	授業計画	PROGRESS CHECK			
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読			

評価方法	出席状況：40%	定期試験：60%
教科書	著者名	Jack C. Richards, Jonathan Hull, Susan Proctor
	タイトル	Interchange 5th Edition
	出版社	CAMBRIDGE UNIVERSITY PRESS
参考書	著者名	
	タイトル	
	出版社	

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	接遇外国語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任・東日本エリアリーダー主任		

講義概要
この授業では、自己紹介や、学校での活動について、また家族についてや、自身の習慣など、日常的に話すであろう簡易なトピックについて英語で話せるよう講義を行う。講義内容については全て英語で行うと共に、欧米交流を目的としているため、海外提携先大学とのオンライン交流授業も実施する。
達成目標
英語を話したいが苦手である、また基礎的な語彙力や文法知識に乏しく、英語で話す事に自信が無いと言う学生も、失敗を恐れずに発話する事を目標とする。
学修成果
日常的な会話に必要な語彙や、Wh 疑問文や基本時制と言われる、現在形、過去形、未来形について基本的な型を理解し、自分自身の言葉として発話出来るようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	復習：Unit1・Unit2		授業計画	復習：Unit9・Unit10
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
2	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	10	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	復習：Unit1・Unit2		授業計画	復習：Unit13・Unit14
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
3	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	11	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	復習：Unit1・Unit2		授業計画	復習：Unit13・Unit14
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
4	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	12	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	復習：Unit5・Unit6		授業計画	復習：Unit13・Unit14
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
5	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	13	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	復習：Unit5・Unit6		授業計画	復習：PROGRESS CHECK
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
6	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	14	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	復習：Unit5・Unit6		授業計画	復習：PROGRESS CHECK
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	テストの準備
7	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	15	事前学習	テストの準備
	授業計画	復習：Unit9・Unit10		授業計画	テスト
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	テストの振り返り
8	事前学習	文法事項復習及び会話文音読			
	授業計画	復習：Unit9・Unit10			
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：60%

教科書 著者名 Jack C. Richards, Jonathan Hull, Susan Proctor
 タイトル Interchange 5th Edition
 出版社 CAMBRIDGE UNIVERSITY PRESS

参考書 著者名
 タイトル
 出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	就職ケーススタディ I	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験(相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援)		

講義概要
本講義は、変化に柔軟に対応し、前向きに生きていくために必要な社会人基礎力を身につけることを目的とする。特に計画性、表現力、主体性、ストレス耐性の向上のため、グループワークやプレゼンテーション、よりよいコミュニケーションのための文章での自己表現方法などについて学習する。
達成目標
目標達成のための PDCA の実践力を身につけ、卒業後の進路に向けて行動する。ビジネス場面で必要なコミュニケーション力と文章表現力を向上させ自信を身につける。
学修成果
志望企業への内定獲得や志望大学への合格その他個々の進路目標の達成。学習内容を自分のものとし、実社会で実践できる。自分ならではの発見と自信の獲得。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回学習内容の復習
	授業計画	1 年時の振り返り 卒業後の進路に向けての目標設定シート作成		授業計画	JST (ジョブスキルトレーニング) ① 職場で起こりうる場面への対応
	事後学習	目標達成シートの完成		事後学習	講義内容の復習と実践
2	事前学習	前回学習内容の復習	10	事前学習	前回学習内容の復習
	授業計画	目標達成シート内容発表 1 分で自分を紹介し、目標発表する		授業計画	JST (ジョブスキルトレーニング) ② 職場で起こりうる場面への対応
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習と実践
3	事前学習	前回学習内容の復習	11	事前学習	前回学習内容の復習
	授業計画	社会人としての自己紹介 とともに働く 仲間に 3 分で自分を PR する		授業計画	JST (ジョブスキルトレーニング) ③ IT 機器の扱いと基礎知識
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習と実践
4	事前学習	応募書類の見直し	12	事前学習	前回学習内容の復習
	授業計画	ビジネス文書の書き方① 履歴書・エ ントリーシートの作成方法①		授業計画	アンガーマネジメントとストレスマ ネジメント方法と実践
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
5	事前学習	前回学習内容の復習	13	事前学習	前回学習内容の復習
	授業計画	ビジネス文書の書き方② 履歴書・エ ントリーシートの作成方法②		授業計画	労働法と社会保障 活用できる制度について知る
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
6	事前学習	前回学習内容の復習	14	事前学習	前回学習内容の復習
	授業計画	企業・業界研究 現代の社会情勢と今後の展望		授業計画	前期講義内容振り返り キャリアプランニングシート作成
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	講義内容の復習と実践
7	事前学習	前回学習内容の復習	15	事前学習	前期講義内容の見直し
	授業計画	職種研究 一般的な職種の種類と仕事 内容の理解		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	前回学習内容の復習		事前学習	前回学習内容の復習
	授業計画	ビジネス文書の書き方③ 履歴書のメ ール添付や郵送時のマナーの確認		授業計画	
	事後学習	講義内容の復習と実践		事後学習	

評価方法 出席状況 : 30% 定期試験 : 40% < (課題) > : 30%

教科書 著者名 講師配布資料

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	就職ケーススタディⅡ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験(相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援)		

講義概要
本講義は、前期に続き、変化に柔軟に対応し、前向きに生きていくために必要な社会人基礎力を身につけることを目的とする。特に計画性、表現力、主体性、ストレス耐性の向上のため、グループワークやプレゼンテーション、よりよいコミュニケーションのための文章での自己表現方法などについて学習する。
達成目標
目標達成のための PDCA の実践力を身につけ、卒業後の進路に向けて行動する。ビジネス場面で必要なコミュニケーション力と文章表現力を向上させ自信を身につける。
学修成果
各自が希望する卒業後の進路の見通しを立てた上で、社会人として事前に理解しておきたい基礎知識を習得し、安心して社会生活が送れるようになる。

授業計画

1	事前学習	目標達成シートの作成	9	事前学習	目標達成シートの見直し
	授業計画	オリエンテーション 前期の振り返りと目標達成シート作成		授業計画	目標達成の中間見直し 実行状況と実績振り返り
	事後学習	目標達成シートの完成		事後学習	目標達成シートの再策定
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	講義内容事前調査
	授業計画	目標達成シート内容発表 時間と構成を意識したプレゼンテーション		授業計画	ビジネス文書の書き方② 論理的に説明した文章
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
3	事前学習	講義内容事前調査	11	事前学習	講義内容事前調査
	授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)① 職場でよくある場面对応①		授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)④ 労働法と社会保障制度
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
4	事前学習	講義内容事前調査	12	事前学習	講義内容事前調査
	授業計画	企業研究①企業の社会的意義を学ぶ CSR 活動事例紹介		授業計画	金銭管理の基礎知識 ライフイベント マネジメントプランを立てる
	事後学習	CSR 活動について調べる		事後学習	ライフマネジメントプランの完成
5	事前学習	講義内容事前調査	13	事前学習	先輩への質問内容を考えてくる
	授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)② 職場でよくある場面对応②		授業計画	働く先輩に聞く 学生時代にやっておくべきこと
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	社内と社外での敬語の使い方復習	14	事前学習	講義内容事前調査
	授業計画	ビジネス文書の書き方① 社内文書・社外文書の書き方		授業計画	後期講義内容の総復習
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	後期講義内容の復習
7	事前学習	講義内容事前調査	15	事前学習	後期講義内容の見直し
	授業計画	JST(ジョブスキルトレーニング)③ 職場でよくある場面对応③		授業計画	定期試験
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	講義内容事前調査			
	授業計画	企業研究②様々な福利厚生 福利厚生とは何か。企業の事例紹介			
	事後学習	講義内容の復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <(課題)>：30%

教科書 著者名 講師配布資料

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022年度	学期	前期
科目名	メディアリテラシーⅠ(A)	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験(相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援)		

講義概要
本講義は2つ目的がある。まずメディアを利用するにあたり情報を主体的に読み解く能力を習得すること。そして適切な情報収集により1年次学習したビジネス資格取得を目指すことである。実際の講義場面でのメディア活用を通して社会人になった後も効果的にメディア活用ができることが目的である。
達成目標
メディアを介した情報を主体的に読み解くことができ、適切な情報収集ができるようになること。またそれを通して、ビジネス資格を取得できることを目標とする。
学修成果
一般的なメディアリテラシー知識を理解できる。その知識を利用して適切な情報収集ができる。1年次に学習したビジネス学習を形とすべく資格試験に合格する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産とは何か 世界遺産の概要説明と導入		授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 法隆寺地域の仏教建造物群他
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	日本の地理と地形① 日本列島(国土と海について)の基礎知識		授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 姫路城・広島平和記念碑他
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	日本の地理と地形② 日本列島(日本の気候とその特徴)の基礎知識		授業計画	日本の文化遺産の現状と課題『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群他
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
4	事前学習	前回学習内容復習	12	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる
	授業計画	世界遺産の基礎知識 世界遺産条約と世界遺産の条件		授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 長崎と天草地方・琉球王国のグスク他
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
5	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	13	事前学習	スライド作成準備
	授業計画	日本の自然遺産 知床・白神山地・小笠原諸島・屋久島・奄美大島ほか		授業計画	日本の宝ピックアップ 発表用スライド作成
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
6	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	14	事前学習	スライド発表準備
	授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 平泉・富岡製糸場と絹産業遺産群他		授業計画	日本の宝ピックアップ スライドを使用した日本の宝発表
	事後学習	復習テスト		事後学習	講義内容の復習
7	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる	15	事前学習	前期講義内容復習
	授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 明治日本の産業革命遺産・富士山他		授業計画	定期試験 前期学習内容をふまえた定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験内容の復習
8	事前学習	講義部分のテキストを読んでくる		事前学習	
	授業計画	日本の文化遺産の現状と課題 紀伊山地の霊場と参詣道他		授業計画	
	事後学習	復習テスト		事後学習	

評価方法 出席状況:30% 定期試験:50% <(課題)>:20%

教科書	著者名	世界遺産検定事務局
	タイトル	きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産3級公式テキスト
	出版社	株式会社 マイナビ出版
参考書	著者名	世界遺産検定事務局
	タイトル	世界遺産検定公式過去問題集
	出版社	株式会社 マイナビ出版

年度	2022年度	学期	前期
科目名	メディアリテラシー I (B)	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	工藤 麻紀子		
実務経験 教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務 (IT、マーケティング、PR)、スタートアップ企業の広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
本講義は2つ目的がある。まずメディアを利用するにあたり情報を主体的に読み解く能力を習得すること。そして適切な情報収集により1年次学習したビジネス資格取得を目指すことである。実際の講義場面でのメディア活用を通して社会人になった後も効果的にメディア活用ができることが目的である。
達成目標
メディアを介した情報を主体的に読み解くことができ、適切な情報収集ができるようになること。またそれを通して、ビジネス資格を取得できることを目標とする。
学修成果
一般的なメディアリテラシー知識を理解できる。その知識を利用して適切な情報収集ができる。1年次に学習したビジネス学習を形とすべく資格試験に合格する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	オリエンテーション 小売業の種類 (定義・商品・役割)		授業計画	マーチャンドライジング 商品計画の基本知識
	事後学習	復習		事後学習	復習
2	事前学習	テキスト該当箇所通読	10	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	日本の小売業の構造上の特徴と変化 日本人の生活		授業計画	マーチャンドライジング 商品構成や品ぞろえ
	事後学習	復習		事後学習	復習
3	事前学習	テキスト該当箇所通読	11	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	主要商品別の流通経路 生鮮食品・加工食品・医薬品・衣料品・化粧品		授業計画	マーチャンドライジング 棚割とディスプレイの基本知識
	事後学習	復習		事後学習	復習
4	事前学習	テキスト該当箇所通読	12	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	販売小売業の種類と特徴 組織化によるメリット		授業計画	マーチャンドライジング 仕入計画の基本知識
	事後学習	復習		事後学習	復習
5	事前学習	テキスト該当箇所通読	13	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	小売業の商業集積について 歴史・種類・課題		授業計画	マーチャンドライジング 仕入先企業の基本知識
	事後学習	復習		事後学習	復習
6	事前学習	テキスト該当箇所通読	14	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	マーチャンドライジング 商品の種類、コンセプト		授業計画	振り返り
	事後学習	復習		事後学習	試験現況
7	事前学習	テキスト該当箇所通読	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	マーチャンドライジング 商品の分類、本体要素		授業計画	定期試験
	事後学習	復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	テキスト該当箇所通読			
	授業計画	マーチャンドライジング 全体像、チェーンストア、IT			
	事後学習	復習			

評価方法 出席状況 : 40% 定期試験 : 50% < (平常点) > : 10%

教科書 著者名 ユーキャン販売士検定試験研究会
 タイトル ユーキャンの販売士検定3級
 出版社 ユーキャン学び出版/自由国民社

参考書 著者名
 タイトル
 出版社

年度	2022年度	学期	前期
科目名	メディアリテラシー I (C)	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	楯山 裕子		
実務経験 教員紹介	食品メーカーでの勤務経験（品質管理）		

講義概要
本講義は2つ目的がある。まずメディアを利用するにあたり情報を主体的に読み解く能力を習得すること。そして適切な情報収集により1年次学習したビジネス資格取得を目指すことである。実際の講義場面でのメディア活用を通して社会人になった後も効果的にメディア活用ができることが目的である。
達成目標
メディアを介した情報を主体的に読み解くことができ、適切な情報収集ができるようになること。またそれを通して、ビジネス資格を取得できることを目標とする。
学修成果
一般的なメディアリテラシー知識を理解できる。その知識を利用して適切な情報収集ができる。1年次に学習したビジネス学習を形とすべく資格試験に合格する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	オリエンテーション（講義の進め方、注意事項等）		授業計画	3級本試験に向けて、問題演習、解説
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
2	事前学習	なし	10	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	前期スケジュール、秘書検定試験について、PART1 必要とされる資質		授業計画	3級本試験に向けて、問題演習、解説
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
3	事前学習	前回内容の復習	11	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	PART2 職務知識、問題演習、解説		授業計画	PART1, 2, 3 の復習（企業秘密、電子メール、一般知識用語）
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
4	事前学習	前回内容の復習	12	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	PART3 一般知識、問題演習、解説		授業計画	PART4, 5 の復習（説得と忠告、会議用語と準備の仕方）
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
5	事前学習	前回内容の復習	13	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	PART4 マナー接遇、問題演習、解説		授業計画	PART6, 7 の復習（上書き、社内・社外文書でよく使用される漢字）
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
6	事前学習	前回内容の復習	14	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	PART5 技能、問題演習、解説		授業計画	前期講義のまとめ、期末試験対策問題演習
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
7	事前学習	前回内容の復習	15	事前学習	プリント・教科書を見直す。
	授業計画	PART6 マナー接遇（記述対策）、問題演習、解説		授業計画	期末試験
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	前回内容の復習		事前学習	前回内容の復習
	授業計画	PART7 技能（記述対策）、問題演習、解説		授業計画	
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（宿題提出）>：25%

教科書	著者名	佐藤一明
	タイトル	秘書検定2級に面白いほど受かる本
	出版社	KADOKAWA
参考書	著者名	実務技能検定協会
	タイトル	秘書検定3級実問題集
	出版社	早稲田教育出版

年度	2022年度	学期	後期
科目名	メディアリテラシーⅡ(A)	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	須賀 春菜		
実務経験 教員紹介	就労支援センターでの就労支援の経験(相談・就労に向けた個別支援計画書の作成・企業訪問面談・職業訓練・定着支援)		

講義概要
本講義は2つ目的がある。前期に習得した情報を読み解く能力を発展させ、効果的な情報収集を行えるようになること。適切な情報収集により前期で学習したビジネス資格より難易度の高い資格取得を目指すことである。実際の講義でのメディア活用を通して卒業後も効果的なメディア活用をできるようにする。
達成目標
メディアを介した情報を効果的に読み解くことができ、前期より適切な情報収集ができるようになること。またそれを通して、難易度の高いビジネス資格を取得できることを目標とする。
学修成果
深くメディアリテラシー知識を理解できる。その知識を利用して適切な情報収集ができる。前期より難易度の高いビジネス学習を形とすべく資格試験に合格する。

授業計画

1	事前学習	前期学習内容の復習	9	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	前期講義内容復習 世界遺産の基礎知識と日本の世界遺産		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑧ 人権を尊重し、差別をなくすために
	事後学習	講義内容の復習		事後学習	復習テスト
2	事前学習	前回学習内容復習	10	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義① 法隆寺の木造建築に学ぶ		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑨ 合掌造りから文化・自然・観光の共生を考える
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
3	事前学習	前回学習内容復習	11	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義② 姫路城を残してきた人々の働き		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑩ 文化と生活を守るための新たな人のつながり
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
4	事前学習	前回学習内容復習	12	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義③ 気候変動の影響を世界遺産から考える		授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑪ 遺跡保存のための人材育成について
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
5	事前学習	前回学習内容復習	13	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義④ 世界遺産の観光地化について考える		授業計画	世界遺産まとめ① 自分が気になる世界遺産について調べる
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
6	事前学習	前回学習内容復習	14	事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑤ 自然保護のためにできること		授業計画	世界遺産まとめ② 自分が気になる世界遺産について調べて発表する
	事後学習	復習テスト		事後学習	復習テスト
7	事前学習	前回学習内容復習	15	事前学習	後期講義内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑥ 「平和のとりで」を築くことについて考える		授業計画	定期試験
	事後学習	復習テスト		事後学習	試験内容復習
8	事前学習	前回学習内容復習		事前学習	前回学習内容復習
	授業計画	世界遺産を学ぶ意義⑦ 戦争の記憶から平和な社会をつくるために		授業計画	
	事後学習	復習テスト		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% <(課題)>：20%

教科書	著者名	世界遺産検定事務局
	タイトル	きほんを学ぶ世界遺産 100 世界遺産 3級公式テキスト
	出版社	株式会社 マイナビ出版
参考書	著者名	世界遺産検定事務局
	タイトル	世界遺産検定公式過去問題集
	出版社	株式会社 マイナビ出版

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	メディアリテラシーⅡ (B)	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	工藤 麻紀子		
実務経験 教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務 (IT、マーケティング、PR)、スタートアップ企業の広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
本講義は 2 つ目的がある。前期に習得した情報を読み解く能力を発展させ、効果的な情報収集を行えるようになること。そして適切な情報収集により前期で学習したビジネス資格より難易度の高い資格取得を目指すことである。実際の講義場面でメディア活用を通して社会人になった後も効果的にメディア活用ができることが目的である。
達成目標
メディアを介した情報を効果的に読み解くことができ、前期より適切な情報収集ができるようになること。またそれを通して、難易度の高いビジネス資格を取得できることを目標とする。
学修成果
深くメディアリテラシー知識を理解できる。その知識を利用して適切な情報収集ができる。前期より難易度の高いビジネス学習を形とすべく資格試験に合格する。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	前期の振り返り 小売業とマーチャンダイジング		授業計画	ストアオペレーション ワークスケジュールリングの基本
	事後学習	復習		事後学習	復習
2	事前学習	テキスト該当箇所通読	10	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング 発注・物流・在庫の基本知識		授業計画	マーケティング 小売業のマーケティング、マーケティングミックス
	事後学習	復習		事後学習	復習
3	事前学習	テキスト該当箇所通読	11	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング 販売管理の基本知識		授業計画	マーケティング 商圈、立地条件と出店
	事後学習	復習		事後学習	復習
4	事前学習	テキスト該当箇所通読	12	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング 価格管理・売価設定の基本知識		授業計画	マーケティング 売場作りの基本 (照明、ディスプレイ)
	事後学習	復習		事後学習	復習
5	事前学習	テキスト該当箇所通読	13	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング振り返り		授業計画	販売・経営管理 販売員のマナー、クレーム対応
	事後学習	復習		事後学習	復習
6	事前学習	テキスト該当箇所通読	14	事前学習	テキスト該当箇所通読
	授業計画	ストアオペレーション 開店準備、発注業務の基本		授業計画	販売・経営管理 小売業に関する法律・ 環境問題について
	事後学習	復習		事後学習	復習
7	事前学習	テキスト該当箇所通読	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	ストアオペレーション 売場チェックの基本知識		授業計画	定期試験
	事後学習	復習		事後学習	振り返り
8	事前学習	テキスト該当箇所通読			
	授業計画	ストアオペレーション ディスプレイの基本パターン			
	事後学習	復習			

評価方法 出席状況 : 50% 定期試験 : 40% < (平常点) > : 10%

教科書 著者名 ユーキャン販売士検定試験研究会
 タイトル ユーキャンの販売士検定 3 級
 出版社 ユーキャン学び出版 / 自由国民社

参考書 著者名
 タイトル
 出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	メディアリテラシーⅡ(C)	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	楯山 裕子		
実務経験 教員紹介	食品メーカーでの勤務経験（品質管理）		

講義概要
本講義は 2 つ目的がある。前期に習得した情報を読み解く能力を発展させ、効果的な情報収集を行えるようになること。そして適切な情報収集により前期で学習したビジネス資格より難易度の高い資格取得を目指すことである。実際の講義場面でメディア活用を通して社会人になった後も効果的にメディア活用ができることが目的である。
達成目標
メディアを介した情報を効果的に読み解くことができ、前期より適切な情報収集ができるようになること。またそれを通して、難易度の高いビジネス資格を取得できることを目標とする。
学修成果
深くメディアリテラシー知識を理解できる。その知識を利用して適切な情報収集ができる。前期より難易度の高いビジネス学習を形とすべく資格試験に合格する。

授業計画

1	事前学習	前期内容の復習	9	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	後輩の指導。社内文書と書き方。ファイリング。弔事、葬儀について。		授業計画	コンピューター用語。電子メール。秘書の身だしなみ。上司の出張。
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
2	事前学習	前回内容の復習	10	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	補佐機能の本質。接遇用語。電話対応。社内文書。上書きの書き方。		授業計画	お茶の出し方。結婚祝い、慶事と種類。訃報を受けた時の対応。
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
3	事前学習	前回内容の復習	11	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	カタカナ語、略語。秘文書の扱い方。企業秘密。郵送方法。雑誌整理。		授業計画	説明と忠告。メモの作成。名刺整理。報告・説明・断り方・苦情処理。
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
4	事前学習	前回内容の復習	12	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	尊敬語、謙譲語。来客対応。上書き、宛名。		授業計画	文書の種類。財務用語。上司について知る範囲と印鑑の扱い。
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
5	事前学習	前回内容の復習	13	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	郵便の種類。会社用語。環境整備、職場のレイアウト。		授業計画	スケジュール管理。コンピューター用語。来客の案内・対応。
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
6	事前学習	前回内容の復習	14	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	二重敬語。上司の出張。不意の客の対応。会議の開催案内。		授業計画	カタログ整理。内線電話の対応。会議用語、手紙。期末試験対策演習。
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	講義内容の復習、宿題提出
7	事前学習	前回内容の復習	15	事前学習	前回内容の復習
	授業計画	グラフの種類と書き方。秘書の仕事の限界。経営用語。		授業計画	期末試験
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	事後学習（16 文字以内）
8	事前学習	前回内容の復習		事前学習	前回内容の復習
	授業計画	法律用語。複数の業務の依頼。業務の引継ぎ。予約のある客の対応。		授業計画	
	事後学習	講義内容の復習、宿題提出		事後学習	

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（宿題提出）>：25%

教科書 著者名 佐藤一明
 タイトル 秘書検定 2 級に面白いほど受かる本
 出版社 KADOKAWA

参考書 著者名 実務技能検定協会
 タイトル 秘書検定 2 級実問題集
 出版社 早稲田教育出版

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	課程演習Ⅲ(ジュエリー)	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	星野 壽江		
実務経験 教員紹介	JJA にて JC3 級検定講師、共立女子大学公開講座にて JC3 級、宝石、ジュエリーの コーディネートについての講師、テレビ通販番組のゲスト、コメンテーター等		

講義概要
本講義では、ジュエリーの知識と魅力を学び、スペシャリストとしての第一歩であるジュエリーコーディネーター 検定 3 級取得を目指す。ジュエリーの知識だけではなく、販売のノウハウも学ぶ事で、宝飾業界だけではなく百貨 店やブライダル業界などでも活かせる知識を修得する。
達成目標
宝石素材や製造の基礎知識を理解し、それを販売する為の基礎知識を身に付け、ジュエリーコーディネーター検定 3 級の取得を目標とする。
学修成果
ジュエリーコーディネーターとしての立ち振る舞いを身に付けることで、ジュエリー販売のみならず、販売員とし ての基本が身につく、販売等の仕事の場で活かすことが出来る。。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	テキスト「貴金属」熟読
	授業計画	オリエンテーション、授業の目的説明 など		授業計画	貴金属とは ゴールド、プラチナ、銀について
	事後学習	配布プリントの復習		事後学習	貴金属の重要箇所暗記
2	事前学習	テキストの確認	10	事前学習	貴金属までの総復習
	授業計画	色々な宝石の観察		授業計画	倫理綱領から貴金属までの小テスト
	事後学習	配布プリントの復習		事後学習	小テストの振り返り
3	事前学習	テキストの確認	11	事前学習	テキスト「製造編」熟読
	授業計画	ジュエリー産業倫理綱領について		授業計画	ジュエリーデザインの基礎知識 製造、加工、修理の基礎知識
	事後学習	倫理綱領について理解する		事後学習	製造編の重要箇所暗記
4	事前学習	倫理綱領の暗記	12	事前学習	テキスト「商品編」熟読
	授業計画	ジュエリー概論 産業論について重 要な箇所のチェック		授業計画	商品概論 商品の成り立ち分類につ いて ジュエリーの商品知識、種類
	事後学習	チェック項目の暗記		事後学習	商品編の重要箇所暗記
5	事前学習	「宝石の基礎知識」の熟読	13	事前学習	テキスト「販売編」熟読
	授業計画	宝石の基礎知識 宝石とは何か		授業計画	販売の基礎知識 ジュエリーコーディネートの基礎知識
	事後学習	宝石の基礎を理解暗記		事後学習	販売編の重要箇所暗記
6	事前学習	テキスト「ダイヤモンド」熟読	14	事前学習	倫理綱領から販売編までの総復習
	授業計画	ダイヤモンドの基礎知識 ダイヤモンドとは		授業計画	過去問題を解きながら、倫理綱領から 販売編までの総復習
	事後学習	ダイヤモンドの重要箇所暗記		事後学習	テキストの重要箇所全て暗記
7	事前学習	テキスト「カラー・ストーン」熟読	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	カラー・ストーンとは カラー・スト ーンの種類と特性について		授業計画	期末試験
	事後学習	カラー・ストーンの重要箇所暗記		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	テキスト「真珠」熟読			
	授業計画	真珠について			
	事後学習	真珠の重要箇所暗記			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：40% < (小テスト) >：20%

教科書 著者名 一般社団法人 日本ジュエリー協会
タイトル ジュエリーコーディネーター検定 3 級
出版社 一般社団法人 日本ジュエリー協会

参考書 著者名
タイトル
出版社

年度	2022年度	学期	後期
科目名	課程演習Ⅳ（総合旅程）	単位	2単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	沢井 裕		
実務経験 教員紹介			

講義概要
本講義は2つ目的がある。まず国内で観光ガイドのできる国内旅程取扱い管理主任者の資格を取ること。次に観光職業における学習を通して、他科目で学習しているマナーやホスピタリティ等を実践で使うイメージを形成することである。本講義を通して、学習を職業実践につなげていくことを狙いとしている。
達成目標
国内観光地における名所や状況等を理解すること。観光業における知識及びマナーやビジネススタイルを理解し、職業イメージを形成すること。
学修成果
観光における必要知識を習得し、国内旅程取扱い管理主任者の資格を取得すること。学校での学習を実践に結び付けるためのイメージ形成ができ、今後職業観を養えること。

授業計画

1	事前学習	テキスト予習	9	事前学習	テキスト予習
	授業計画	旅行業法：約款①標準旅行業の約款について		授業計画	国内バスツアー研究①企画旅行の立案と計画
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	観光地情報確認
2	事前学習	テキスト予習	10	事前学習	テキスト予習
	授業計画	旅行業法：約款②標準旅行業の約款について		授業計画	国内バスツアー研究②手配旅行の立案と計画
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	観光地情報確認
3	事前学習	テキスト予習	11	事前学習	テキスト予習
	授業計画	旅行業法：約款③国内旅客運送約款について		授業計画	国内バスツアー研究③団体旅行の立案と計画
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	観光地情報確認
4	事前学習	テキスト予習	12	事前学習	テキスト予習
	授業計画	旅行業法：約款④旅行におけるモデル宿泊約款について		授業計画	JRの運賃：料金の基礎・特例・割引等について
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	観光地情報確認
5	事前学習	テキスト予習	13	事前学習	テキスト予習
	授業計画	旅行業法：約款⑤貸切バス・フェリー運送約款について		授業計画	国内線の運賃：料金の基礎・特例・割引等について
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	観光地情報確認
6	事前学習	テキスト予習	14	事前学習	テキスト予習
	授業計画	国内観光における地理①（北海道・東北地方）		授業計画	JRの切符・Eチケットの読み方と受付対応の注意
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	期末試験準備
7	事前学習	テキスト予習	15	事前学習	期末試験準備
	授業計画	国内観光における地理②（関東・東海・関西地方）		授業計画	期末試験
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	期末試験振り返り
8	事前学習	テキスト予習		事前学習	テキスト予習
	授業計画	国内観光における地理③（四国・九州・沖縄地方）		授業計画	
	事後学習	観光地情報確認		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% <（受講態度）>：20%

教科書 著者名 テキスト使用予定

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	特別演習Ⅲ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	横田 真央		
実務経験 教員紹介	生命保険会社における法人営業、個人営業。FP として顧客相談業務経験あり。		

講義概要
本講義は、人生の中で、必ず必要となるお金の知識を身につけることを目的としている。一生のうちに必要となる金額を、計画的かつ効率的に準備できるよう、ライフイベントごとの必要額を確認し、ライフプランニング表を作成していく。
達成目標
「お金」に対する苦手意識をなくし、バランスシートやライフプランニング表を用いて、長期的な視点で、自分の人生設計ができるようになること。
学修成果
暮らしの中で、無計画に使っている金銭に対する意識が変わる。日本経済や金融の仕組みを理解し、計画的な資金計画を立てられるようになる。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	オリエンテーション、お金のはじまりについて		授業計画	会社員のメリット、デメリット フリーランスとの違い
	事後学習	教科書の見直し		事後学習	配布プリントの確認
2	事前学習	先月の支出が分かるものを準備する	10	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	家計管理 1か月の収支の見直しをする		授業計画	会社員が支払う税金の種類 年末調整について
	事後学習	削減できる支出を考える		事後学習	配布プリントの確認
3	事前学習	教科書の見直し	11	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	お金を貯める理由とは 将来のライフイベントについて		授業計画	税金について 税負担を軽くする所得控除の種類
	事後学習	ライフイベント表の作成		事後学習	配布プリントの確認
4	事前学習	教科書の見直し	12	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	ライフイベント① 結婚・出産費用について		授業計画	金融とはなにか 銀行の種類と役割について
	事後学習	配布プリントの確認		事後学習	配布プリントの確認
5	事前学習	教科書の見直し	13	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	ライフイベント② 教育費について (小学校～大学)		授業計画	日本の銀行の金利はなぜ低いのか 景気とは
	事後学習	配布プリントの確認		事後学習	配布プリントの確認
6	事前学習	教科書の見直し	14	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	ライフイベント③ 住宅費について 賃貸と持ち家の違い		授業計画	全講義内容の復習 期末試験のポイント確認
	事後学習	配布プリントの確認		事後学習	試験範囲の復習
7	事前学習	教科書の見直し	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	ライフイベント④ 介護費について 平均寿命と健康寿命		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントの確認		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	教科書の見直し			
	授業計画	生涯の必要額について ライフイベント表の見直し			
	事後学習	ライフイベント表の修正			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：60%

教科書	著者名	頼藤太希・高山一恵
	タイトル	はじめてのお金の基本
	出版社	成美堂出版
参考書	著者名	滝沢ななみ
	タイトル	みんなが欲しかった! FP の教科書 3 級
	出版社	TAG 出版

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	特別演習Ⅳ	単位	2 単位
学科コース	キャリアデザインコース キャリアプランニング専攻		
講師名	横田 真央		
実務経験 教員紹介	生命保険会社における法人営業、個人営業。FP として顧客相談業務経験あり。		

講義概要
本講義では、預貯金、民間保険、投資信託、株などの基本的な金融商品の仕組みを学び、メリット、デメリットについて考えていく。ライフステージの変化や、社会保障制度の仕組みと関連付けながら、将来に向けた長期的な資金計画を立てられるようになることを目的としている。
達成目標
現在の高齢化社会における生活設計の重要性を理解し、将来起こり得るライフイベントや、不測の事態に備えた資金計画を立てられるようにする。
学修成果
マネーリテラシーを付けることで、周囲の情報に惑わされず、自ら考え、自己責任のもと金融商品の利用ができる意思決定力とリスク管理能力が身につく。

授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	オリエンテーション、マネーリテラシーチェック		授業計画	なぜ投資をしたほうが良いのか 投資をしないリスクとは
	事後学習	配布プリントの確認		事後学習	配布プリントの確認
2	事前学習	教科書の見直し	10	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	日本経済の現状について 円高、円安とはなにか		授業計画	投資① 株価はどのように決まるのか株式の仕組みについて
	事後学習	配布プリントの確認		事後学習	配布プリントの確認
3	事前学習	教科書の見直し	11	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	金融商品① 普通預金と定期預金の違いと、メリット、デメリット		授業計画	投資② 投資信託の仕組み、メリット、デメリット
	事後学習	配布プリントの確認		事後学習	配布プリントの確認
4	事前学習	教科書の見直し	12	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	社会保障制度① 健康保険の仕組みについて		授業計画	投資③ 債券について アメリカと日本の違い
	事後学習	配布プリントの確認		事後学習	配布プリントの確認
5	事前学習	教科書の見直し	13	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	社会保障制度② 労働保険の仕組みについて		授業計画	投資④ NISA 口座と、iDeco について メリット、デメリット
	事後学習	配布プリントの確認		事後学習	配布プリントの確認
6	事前学習	教科書の見直し	14	事前学習	教科書の見直し
	授業計画	金融商品② 生命保険について 加入のメリット、デメリット		授業計画	全講義内容の復習 期末試験のポイント確認
	事後学習	配布プリントの確認		事後学習	試験範囲の復習
7	事前学習	教科書の見直し	15	事前学習	全講義内容の復習
	授業計画	社会保障制度③ 公的年金について 受給額の試算		授業計画	定期試験
	事後学習	配布プリントの確認		事後学習	試験の見直し
8	事前学習	教科書の見直し			
	授業計画	金融商品③ 貯蓄型保険について(学資・年金など)			
	事後学習	配布プリントの確認			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：60%

教科書 著者名 頼藤太希・高山一恵
タイトル はじめてのお金の基本
出版社 成美堂出版

参考書 著者名 滝沢ななみ
タイトル みんなが欲しかった! FP の教科書 3 級
出版社 TAG 出版

